

事業概要： "ご縁も、美肌も、しまねから。" ～新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり～

継続

申請者	島根県ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,535,946千円 (370,925千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「ご縁も、美肌も、しまねから。」をキーワードに観光コンテンツの磨き上げと情報発信を行い、「美肌県しまね」の認知度拡大と観光誘客を進めることにより、「新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 美肌をテーマに、外部人材を活用したアドバイザー事業を軸とした「温泉」や「食」等の地域資源を活用した観光商品づくり等を実施する。また、SNSやWEB等のデジタル技術も活用した幅広い層の女性をターゲットとしたプロモーションを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○島根県 ・美肌モデル事業の造成・販売支援 （委託料・補助金）11,250千円 ・旅行会社や交通機関と連携した誘客推進 （委託料・補助金）51,765千円 ・情報発信、メディアプロモート （委託料・補助金）211,366千円 ○松江市 ・誘客推進事業：松江が誇る歴史と癒しのコンテンツのプロモーション強化（委託料・補助金・負担金）85,000千円 ○安来市 ・新たな美肌コンテンツの磨き上げ等：エリアブランドの強化 （委託料）4,000千円 ○浜田市 ・美肌観光推進事業：美肌をキーワードとした一体性とストーリー性の確立（委託料・補助金）7,544千円						
主なKPI	①観光消費額（+504億円） ②観光入込客延べ数（+10,136千人） ③宿泊客延べ数（+952千人） ④「美肌県しまね」の観光認知度（+6.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

※島根県、松江市、安来市、浜田市の広域連携事業

事業概要：地域経済を牽引！強くしなやかな食品産業育成プロジェクト

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	565,758千円 (150,140千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	自ら営業・販路開拓・生産拡大を行うことのできる事業者を早急に育成し、原材料供給事業者の売上増や雇用増へつなげ、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域経済を牽引する企業を育成するため、国内・海外の様々な業種への販路拡大に必要な商品開発・改良等を支援する。また効果的に事業を実施するため、商工団体等の関係機関が連携・伴走支援を行う。					 県外展示会での「島根県ブース」の設置 「島根県産品・展示商談会」の開催  Webカタログを通じた県産品県産品拡大	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県産原材料を用いて、国内・海外への販路拡大を目指す食品・飲料製造事業者を対象に、商品開発・改良等に係る取組を支援し、地域経済を牽引する企業を育成 36,681千円（補助金等） ○県外で開催される展示会での「島根県ブース」の設置やバイヤーを県内に招聘する「島根県産品展示・商談会」の開催等 86,942千円（委託費等） ○商談会開催等による海外販路開拓支援 21,901千円（委託費等） ○海外向け展示会の拡充 4,616千円（委託費等）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用の増加（+884人） ②付加価値額の増加（+8億2,100万円） ③県産原材料の調達額の増加（+4億円） ④加工食品等の輸出実績額（+9億7,590万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：若者の県内就職促進プロジェクト

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	988,212千円 (210,660千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・島根で育った若者が島根で働けるよう、高校、専修学校、高専、県内外の大学等と連携し、高校生や県内外に進学した学生の県内就職を促進する。 ・若者の県外流出による人口減少、県内企業の人材不足へ対応を図る。 ・地域 I T 人材の育成・確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者の県外流出による人口減少、県内企業の人材不足へ対応するため、高校、専修学校、高専、県内外の大学等と連携し、高校生や県内外に進学した学生の県内就職を促進する。なお、コロナ禍で遠方の学生にオンライン、W e b により情報提供することの有効性が確認されたことから、合同企業説明会などは対面とオンラインやW e b を効果的に組み合わせ実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○高校生向け ・高校生と企業との交流会や教員や保護者等を対象にしたセミナー等の開催等（委託費等） 43,794千円 ○県内大学生等向け ・県内高等教育機関と連携して実施する低学年向け企業交流会や就活生向け企業説明会の開催経費等（委託費等） 47,725千円 ○県外大学生等の県内就職促進事業 ・県外で低学年次からの支援を行う学生就職アドバイザーの配置や合同企業説明会の開催経費等（委託費等） 71,252千円 ○地域 I T 人材育成・確保 ・県内各学校で行う授業の企画運営経費や学生と I T 企業との交流イベント開催経費（委託費等） 47,889千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学等の県内就職率（+5.5%） ②県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率（+2.0%） ③高校卒業時の県内就職率（+7.1%） ④県内教育機関から県内 I T 企業への就職者数（+70人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：縁結びからはじまる、しまねの応援プロジェクト

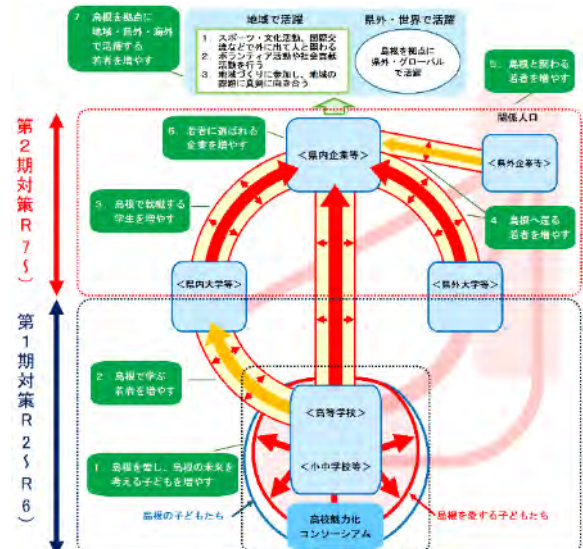
～笑顔あふれる結婚・子育て・働き方支援～

旧制度（推進）

申請者	島根県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,995千円 (37,060千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・結婚を希望する独身の方へのお引き合わせ支援などにより、結婚の希望を叶える環境づくりを図る ・しまね縁結びサポートセンターへの相談登録者等を増やし、マッチング機会の提供を図る ・社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図る ・企業等のワークライフバランスの取組を支援し、子育てをしながら働き続けやすい職場環境の実現を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 行政や企業、民間事業者などが連携した多様な出会いの場の創出を含めた、気軽に婚活に取り組みやすい環境づくりを推進する。また、県全体で子育てを応援する機運を醸成するための取組のほか、男女とも育児・介護休業が取得しやすく、子育てや介護に対応した柔軟な働き方ができる環境を整えていくための事業者への支援などに取り組む。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○市町村の結婚支援事業を支援 ・市町村結婚支援強化交付金 8,000千円 ・民間イベント補助金 3,900千円 ○子育て支援サービスを提供する「協賛店」の登録促進 ・店舗訪問等による登録促進（委託料）1,785千円 ○女性の希望する働き方を支援 ・スキルアップセミナー開催経費（委託料）3,845千円 ○ワークライフバランスを実現させる取組を支援 ・男性の家事・育児促進 3,222千円 ・イクボスセミナー、イクボスネットワーク企業交流会の開催経費（委託料）7,160千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「しまね縁結びサポートセンター」を通じた婚姻数（+385組） ②結婚を希望する「はぴこ」利用申込者及び「しまこ」会員数（+280人） ③こころ事業の協賛店舗数（+200店） ④こころカンパニー認定企業数（+210社）		URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：産官学で連携した島根を創る人づくりプロジェクト～育成・還流・定着～

継続

申請者	島根県ほか17自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,345,963千円 (439,940千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・産学官や地域が連携して若者の県内定着につながる環境を整えることで、若者がふるさと島根に定着し、産業や企業の担い手として、また地域の生活を維持するための担い手として活躍する人材になることを目指す。 ・県内企業の魅力向上及び採用力強化を図ることで、若者に選ばれる企業づくりを促進し、県内定着（「還流」）につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 島根と関わりたい・関わり続けたい若者を増やすための関わる機会創出の拡大に向けた取組み、県内企業の魅力を高め、島根で就職したい若者を増やすための県内企業の採用力強化に向けた取組み、島根へ還り、就職を実現する若者を増やすための就職マッチングの強化に向けた取組みを行うもの						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市町村が実施する県出身者との継続的な関わりの創出を担うコーディネーターの配置（人件費、委託料等） 97,869千円 ・都市圏でのUターン関心層に向けたイベント開催（補助費） 16,124千円 ・採用活動の改善に取り組む企業を支援（委託料等） 13,250千円 ・魅力あるインターンシップに取り組む企業を支援（補助費等） 5,500千円 ・都市圏での県内求人情報等の発信（補助費、委託料等） 46,730千円 ・都市圏で県出身者と県内企業を結び付ける交流イベントの開催（補助費） 21,221千円 ・無料職業紹介システムの機能拡張（補助費） 9,350千円						
主なKPI	①20代のUターン者数（+25人） ②首都圏・関西圏における学生及び若手社会人のコミュニティ参加人数（+25人） ③県内企業の採用計画人数の充足率（+9.8%） ④短期仕事体験の受入企業数（+8社） ⑤県外の移住相談窓口における相談者数（+105人） ⑥無料職業紹介システムを介した県内就職者数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

※島根県、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、海士町、隠岐の島町の広域連携事業

事業概要：中山間地域において安心して暮らせる生活環境の創生

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	585,075千円 (188,378千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	中山間地域において、地域住民がこれからも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、必要な生活機能・サービスの維持・確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・公民館エリアを基本として住民同士の話し合いを通じて地域運営（生活機能）の仕組みをつくる ・旧市町村を基本として行政がより関与しながら生活交通や商店など日常生活に必要な機能を維持・確保する					生活機能・サービスの維持・確保  買い物支援  生活交通の運行	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公民館エリアを基本とする住民主体による地域運営の仕組みづくり ・地域運営組織による実践活動の継続・充実等に向けた支援（補助金）28,170千円（勉強会・交流会）7,745千円 ・地域運営を担う人材の育成・確保（研修会・アドバイザー派遣）12,661千円 ・地域運営組織等の収入源確保に向けた研修会開催や設備整備支援（研修会・アドバイザー派遣）31,229千円（補助金）22,500千円 ○旧市町村を基本とする行政がより関与して生活機能を確保する対策 ・市町村が実施する商店の存続支援（補助金）48,000千円 ・交通事業者の人材確保に向けた採用力向上セミナー開催や職場環境改善支援、採用後の人材育成支援（セミナー）2,600千円（補助金）30,250千円 ○地域の商店存続に向けた取組 ・地域での消費拡大に向けた普及啓発（委託料）5,223千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中山間地域の社会増減（0人） ②生活機能の維持・確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数（+9エリア） ③人材育成研修の受講により地域運営を担う意志を持った人数（+90人） ④県補助金を活用する路線バス等の人口1人当たり年間利用回数（0回） ⑤県の支援により商品化につながった特産品数（+45個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：集積産業を中心とした県内製造業の成長性強化

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,013,611千円 (327,403千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内従業員数の約1割を占める、ものづくり産業の雇用先と所得を増やし、島根に残る若い人を増やす。 ・県内集積産業が抱える課題を中心に、県内ものづくり企業が抱える諸課題に対しても解決に向けた取組を支援することで、ものづくり産業全体の課題解決を図り、ものづくり産業の振興を進めて活力を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 特殊鋼・鋳物関連産業を中心としたものづくり企業の人材定着・確保に向けた取組や成長性・収益性強化を加速させる取組を支援する。また、石州瓦製造事業者だけでなく関連企業への受発注の増加も目指し、関連企業も含めた石州瓦産業全体の維持と拡大への取組を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「特殊鋼・鋳物」を中心としたものづくり企業の人材確保・成長性強化に向けた取組支援事業 ・事業費 111,702千円 ○石州瓦の販路拡大や産地全体の維持拡大に向けた取組み、技術支援事業 ・事業費 52,000千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ○「特殊鋼・鋳物関連産業」における製造現場の暑熱対策事業 ・事業費 145,201千円 ○「石州瓦産業」等における生産性向上に係る設備導入支援事業 ・事業費 18,500千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+600人） ②製造業における従業員1人あたり年間付加価値額（+173.83万円） ※R9年度：1276.63万円を目標とする ③デジタル化またはDXに向けたデジタル技術導入の件数（+184件）					URL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：労働生産性向上プロジェクト

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	684,456千円 (162,283千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人手不足に対応するため、現場改善や新たな仕組み構築等といった生産性向上の取組を支援する。 ・併せて生産性向上により得た成果を事業者が確保できるよう価格転嫁の取組を支援する。 ・これらを通じて県内事業者の稼ぐ力を強化し、県全体の発展・振興を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 少ない人員でも収益をあげることができる生産性の高い経営体質への転換を図る企業に対し、生産性向上に向けたデジタル化の支援や島根県産業技術センターからの技術指導による人材育成支援等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○生産性向上に向けたデジタル化支援 23,950千円 ○島根県産業技術センターからの技術指導による人材育成 30,473千円 ○コンソーシアムによるデジタル技術の導入支援 26,500千円 ○事業継続力強化アドバイザーによる適正な価格転嫁の促進 81,360千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+300万円） ②事業者の営業利益増加額（+1,500万円） ③DX化に取り組んだ企業数（+60社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：農林水産業活性化事業

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	659,015千円 (202,225千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・意欲ある生産者が将来を見据えて安心して就業できる環境を整備することにより、担い手が継続的に参入する持続的な農林水産業の維持・発展を目指す。 ・生産者に対して、収益性や労働生産性の向上を目的として、新技術等の導入を支援することにより、意欲を持ちながら安定した経営が継続できる仕組みづくりの構築を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人材の確保や定着に向けて、就業者への技術継承に係る経費の支援や研修の促進・受入体制の整備を行う。また、生産性・収益性の向上に向けて、効率的な新技術等の導入支援や指導等を実施する。					 集落営農のIターンオペレーターによる除草作業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地域の基盤崩壊を防ぎ、次世代を支える人材の確保・定着 ・広域での担い手確保・営農維持の体制づくり支援 3,500千円 ・集落営農次世代人材受入、後継者確保支援 3,350千円 ・新規漁業就業希望者受け入れ環境整備事業 2,800千円 ・高温対策実証事業 7,100千円 ○継続経営が可能な収益の確保 ・加工・業務向け契約取引促進事業 3,600千円 ・有機農業へのチャレンジ支援 10,800千円 ・地域主導型産地創生支援事業 46,000千円 ○技術導入による生産性向上と経営改善 ・広域での農地維持のための機械等整備支援 55,610千円 ・中規模農業者による農地維持のための機械等整備支援 16,665千円 ・原木生産新技術等導入促進事業 40,800千円 ・省力化投資支援事業 12,000千円					 新たな技術による効率的な丸太の集材作業  新規漁業就業希望者による研修状況	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産業における新規就業者数（+790人） ②広域での営農維持の体制づくりに取り組む地区数（+53地区） ③主伐における労働生産性（+2.02㎡/人・日） ④水田園芸県推進6品目の取組面積（+165ha） ⑤和牛子牛生産頭数（+961頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：しまねが誇る伝統工芸・伝統文化活性化事業

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	140,575千円 (46,381千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・伝統工芸品の競争力を強化し、その魅力を県内外へ発信することで、売上額の増加を図る ・伝統工芸品を観光資源として位置づけ、観光消費額の増加につなげ、文化・観光・経済の好循環を生み出す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 島根県の伝統工芸や伝統文化を観光資源として活用し、来県客数の増加や観光消費額の増加を図るため、商品開発や販路開拓の支援等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○売れる商品づくり ・県内の伝統工芸品製造事業者等が、ブランディングから商品開発・ブラッシュアップ、商品提案方法までを通して学び、主体的に販路開拓を行えるようにするための支援体制を構築 14,900千円（委託費） ○日比谷しまね館調査事業 ・しまね館の在り方を検討するための調査研究を実施 3,300千円（委託費） ○未来へつなぐ工芸品総合振興事業 ・島根県の伝統工芸品等の商談会への出展及び専門家の招聘及び認知度向上・魅力発信等の取組への支援 6,365千円（補助金） ・伝統的工芸品展に伝統的工芸品製造事業者が出展する島根ブースを設けることで、首都圏等へのPRを実施 1,267千円（委託費） ・事業拡大に伴う、専任の職員を配置 3,549千円 ○外国人観光客誘致推進事業 ・島根県の伝統文化等に係る地域を巡る団体バスツアーを催行する事業者に対して助成を行う 17,000千円（補助金）					伝統的工芸品展の島根県事業者ブース  （一財）島根県物産協会ECサイト  日比谷しまね館	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（外国人）（+27.1億円） ②日比谷しまね館の売上額（+3億円） ③ECサイトでの売上額（+22,022千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/



（一財）島根県物産協会ECサイト



日比谷しまね館

事業概要： 関西及び県内のゲートウェイを活用した外国人観光客誘致プロジェクト

継続

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	947,306千円 (95,513千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	外国人観光客の周遊先として島根が選ばれるための戦略や国際定期便を有していない島根県内への直接的なゲートウェイを確保する取組を展開し、新たな観光客の獲得を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 島根県に訪れる外国人観光客の約3割が活用している関西国際空港等の主要ゲートウェイを中心として、次の旅行先の選択肢に島根が選ばれるための情報発信及び誘客促進の取組を実施する。 また、県とベトナムの航空会社との間で連携協定を結んだことを発展させ、東南アジア市場へのプロモーションや誘致活動を通じて、観光客増加と国際定期便の就航を目指した取組を実施する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ● 関西主要ゲートウェイ等での訪日外国人向け誘客プロモーション ・観光案内所等と連携した誘客促進 10,000千円（委託費） ・SNS等を活用した来訪計測事業 6,000千円（委託費） ・割引高速バス利用促進プロモーション 5,000千円（委託費） ● 県内ゲートウェイの国際定期便就航促進（ベトナム・タイ等） ・東南アジアをターゲットとした誘客プロモーション 8,700千円（委託費） ● 国際定期便の就航実現に向けた国際チャーター便運航支援・受入体制確保 ・国際チャーター便運航支援 15,000千円（補助費） ・国際チャーター便の受入体制 880千円（委託費） ・受入体制の確保に必要な備品整備 300千円（物件費） ○拠点整備事業 ・搭乗者数がピークとなる時間帯においても運航に支障が生じないよう搭乗待合室改修 49,633千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊客延べ数（+75千人） ②訪日外国人旅行消費額（+16.7億円） ③国際チャーター便運航回数（+13回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,000,000千円 (1,001,334千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	設備、機器等の機能拡充を伴う整備工事や館内のバリアフリー化を実施することで、県民文化活動や県外誘客の拠点として施設の魅力を高め、県内外からの集客により地域経済並びに地域観光の好循環につなげていく						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 より魅力的な公演の観覧・上演、利用時の快適性向上等を目的に、島根県民会館の舞台設備や音響設備の更新、老朽化したホール客席の更新や空調設備の改修、トイレのバリアフリー化等を実施						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①大・中ホールのリニューアル 舞台機構、客席椅子、舞台照明設備、舞台音響設備、舞台映像設備及び緞帳の更新、舞台床張替 ②館内空調設備、会議室等音響及び照明器具の更新 ③トイレのバリアフリー化 ④楽屋の改修 1,001,334千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①島根観光消費額（+407億円） ②島根県民会館入館者数(+43,484人） ③県民文化祭出品者延べ人数（+388人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：外貨獲得プロジェクト～県内事業者の販路拡大支援～事業

新規

申請者	島根県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,000千円 (47,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	商業・サービス業、食品産業、農畜産業は地域資源を生かした地場産業の中核を成す分野であり、県外の大消費地など新たな市場の開拓による外貨獲得を目指す取組みを支援することで、県内事業所の雇用の維持・拡大や付加価値の向上、所得の向上、魅力的な仕事の創出につなげることを目的としている。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・県外市場へ進出するためのPR強化、販路拡大や販売戦略、拠点整備等 ・国外市場への進出のための海外現地企業との商談や市場調査、雇用外国人を核とした海外拠点を設置する県内企業の支援等						
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 県外市場への進出 30,000千円 ・自社ECサイトの強化に向けた取組を支援（補助金） ・石見地域の食品製造事業者の首都圏への販路拡大を支援（委託料等） ・新たな美味しさ評価指標に基づくしまね和牛新ブランド構築推進（委託料等）ほか ● 国外進出への支援 3,500千円 ・雇用外国人を核とし海外拠点を新たに設置する県内企業を支援（委託料） ・海外展示会等を利用した海外現地企業との商談を実施（負担金） 【拠点整備事業】 ● 県外拠点、県内本社整備（補助金）13,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造業における従業員1人あたり年間付加価値額（+181万円） ②加工食品等の輸出実績額（+69,300千円） ③商業・サービス業県外展開支援事業を活用した企業数（+6者） ④県の支援を受けて海外進出した企業数（+3社） ⑤新品種栽培面積（+173ha） ⑥和牛子牛の生産年間頭数（+650頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要：農林大学校機能強化事業

新規

申請者	島根県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	368,753千円 (19,676千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・物価高騰や労働力不足など厳しい状況の中でも、将来にわたり持続性が高まるような構造への転換を図り、次代を担う若い世代にとって魅力ある農業を確立することで持続可能な農業・農村の実現を目指す。 ・意欲ある生産者が将来を見据えて安心して就業できる環境を整備することで、地場産業として意欲を持ちながら安定した経営が継続できる仕組みづくりの構築を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域農業の担い手が大幅に減少する中、農業の担い手を養成する研修教育施設である県立農林大学校の機能を強化し、新規自営就農者の確保・育成及び地域農業の担い手育成を図る。早期の自営就農ができるよう露地野菜と施設野菜を組み合わせた複合経営を想定した実習体制を整備。また、担い手の高齢化による地域での人材育成の課題解決のため、水田農業の基幹作業や最先端のスマート農業技術を習得できる研修体制を整備し、農業者のスキルアップや人材育成につなげる。							
	----- 【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物設計等：野菜専攻現場教室（実施計画）（19,676千円）							
							農林大学校	施設園芸用ハウス
主なKPI	①認定新規就農者数（+480人） ②担い手がいる農業集落の割合（+8%） ③販売額1,000万円以上の中核的経営体の育成数（+414経営体） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/

事業概要： MATSUE起業エコシステム推進事業

旧制度（推進）

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	86,666千円 (13,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	若い世代が「成長することができる」「仲間や人脈ができる」「ノウハウや資金を得られる」社会システム、即ち「若い世代の挑戦から実現に至るまでの成長過程をオーダーメイドでデザインし、そのデザインを地域の産官学機関が互いのノウハウや資源を提供しあいながら実現まで伴走する『MATSUE起業エコシステム』」の形成を通じて、若い世代の「松江に住みたい・戻りたい」「松江を選ぶ」につなげ、地方創生を実現する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「MATSUE起業エコシステム」形成のため、支援機関、行政、教育機関、金融機関等で組織する「MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」を設立する。コンソーシアム内に起業や新ビジネス創出のパブリックコミュニティ「MIX（ミックス）」を設置し、コミュニティ運営、起業等相談支援、支援機関研修などを行う。また高校生・大学生向けに起業・新ビジネス創出体験プログラムを提供する。		 事業化支援  アントレプレナーシップ教育
	【R8年度事業 経費内訳】 コンソーシアム運営：消耗品費、借上料、手数料233千円 コミュニティ運営：企画運営（委託料、講師謝金等）5,600千円 起業等相談支援・事業化支援：企画運営（委託料等）3,150千円 アントレプレナーシップ教育：プログラム実施支援（補助金）3,500千円 プロモーション：企画制作費・印刷費・広告料など 850千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①本事業で実現した起業等の事業化件数（+17件） ②本事業で実施した起業等イベントの参加人数（+1,400人） ③本事業で行った起業等の相談・支援件数（+700件） ④本事業で実施したアントレプレナーシップ教育への参加人数（+80人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://mix-matsue.jp/ (効果検証) https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/8/8885.html

事業概要： Ruby City MATSUE 2.0推進事業

旧制度（推進）

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,690千円 (7,190千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・IT業界と非IT業界が相互に影響を与えながら成長し、地域経済を牽引していく構造に転換する ・事業づくりをするために必要とする環境を整備し、エンジニア個人や小規模チームなど、より小さな粒度のきめ細かな後押しをする ・地元企業と海外企業等との協業等による事業拡大を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「事業化支援」「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ（の強化）」として、下記事業を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○エンジニアと地元事業家によるハッカソン等の実施 ・企画運営（委託料）2,200千円 ○エンジニア本位の事業化機会の提供 ・ビジネスプランコンテスト実行委員会組成・運営（負担金）1,300千円 ○新産業誘致 ・誘致準備業務（委託料）2,700千円 ○プロモーション ・企画制作（委託料・消耗品）990千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値			
	【ビジネスプランコンテストの運営】		
URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	①地域における新規雇用者数（+55人） ②プロダクトアイデア事業化件数（+8件） ③プロダクトアイデア創出件数（+180件） ④市外スタートアップ等とのコンタクト数（+12件）		
	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.matsue.lg.jp/sangyo_business/sangyoshinko/RubyCityMATSUE/index.html （効果検証） https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/8/8885.html		

事業概要：データを活用した地域内マネジメント体制(地域DMO)の確立と観光地域づくり事業

旧制度（推進）

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,991千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	- 観光振興によって地域の「稼ぐ力」を引き出すため、データを分析・活用した戦略に基づいて地域の多様な関係者を巻き込みながら一体となって取り組む「舵取り役」となる観光推進組織（日本版DMO）を確立する - 日本版DMOが地域のマーケティングを継続的に行い、関係者への情報共有や誘客戦略の立案等を通じて、地域内をマネジメントするとともに地域の観光消費額の最大化を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光庁の登録DMOとなった松江観光協会におけるマーケティング実施体制の継続運用、関係者へのデータ分析結果のフィードバック、昨年度実施した誘客戦略の分析と改善、新たなリピーター戦略の企画など、一連のPDCAサイクルの継続的な実行体制を確立する。 【R8年度事業 経費内訳】 (一社)松江観光協会の組織体制強化（補助金）20,000千円 ・CMO(最高マーケティング責任者)を担う外部専門人材の継続配置、マーケティング実施体制の安定運用(18,000千円) ・観光動態データツールの利用料（人流データ含む）(2,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+93億円） ②観光宿泊客数（+33万人） ③データ分析に基づき企画した誘客戦略の件数（+5件） ④観光協会における専門人材の採用人数（+2人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.matsue.lg.jp/kanko_bunka_sports/kankojoho/13045.html

事業概要：小泉八雲の妻、小泉セツをモデルとしたテレビドラマとゆかりの地域資源を活用した観光振興事業

継続

申請者	島根県松江市ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	197,449千円 (60,420千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・国宝松江城、堀川が巡る城下町を有し、暮らしに伝統や文化が息づく佇まいが強みの松江市は「知名度不足」が最大の課題である中、令和7年度に放送を開始した「小泉八雲の妻、小泉セツをモデルとしたテレビドラマ」は、主な舞台が松江市であることから、松江市の地知名度が高まる絶好の機会ととらえる。 ・テレビドラマの放送を契機とした①おもてなし環境を磨き上げる「受地整備」②県外だけでなく県内の機運も高める「機運醸成・イベント型プロモーション」③お土産品、体験メニュー等の幅広い「観光コンテンツ開発支援」の実施により、観光客の満足度を高めリピーターを生み出す循環をつくり、“世界中から松江に人が集まる”姿を実現し、地域経済の活性化に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度に松江市を主な舞台地とした「小泉八雲の妻、小泉セツをモデルとしたテレビドラマ」の放送が開始され、松江市の知名度向上と誘客促進における好機となった。ドラマの放送を契機として令和7年度に実施した「受地整備」、「機運醸成・イベント型プロモーション」、「観光コンテンツ開発支援」について、実施した上での課題を踏まえ、ドラマ放送による効果を一過性のもので終わらせることなく、さらなる知名度の向上や誘客促進の好循環を生み出すことができるよう、受地整備、県外誘客プロモーション及び機運醸成を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○松江市 ・朝ドラ館特別展示の整備 5,000千円(委託料) ・周遊促進シェアサイクル事業 13,920千円(委託料) ・イベント開催支援補助 3,000千円(補助金) ・ラッピングバス運行 726千円 (広告料) ・総合誘客プロモーション 19,774千円(委託料) ・機運醸成イベント開催 1,500千円 (委託料) ○海士町 ・誘客・周遊促進プロモーション 2,500千円 (委託料) ○島根県 ・各種媒体を活用した県外プロモーション、 観光コンテンツ開発、ツアー造成等への継続支援 14,000千円(負担金等)						
主なKPI	①観光消費額(島根県) (+100億円) ②観光入込客数(松江市) (+980千人) ③観光宿泊客数(松江市) (+280千人) ④観光消費額(松江市) (+74億円) ⑤観光入込客数(海士町) (+2千人)					URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/kankobu_kankoshinkoka/16142.html

※島根県松江市、海士町、島根県の広域連携事業

申請者	島根県松江市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,822千円 (30,414千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 松江市固有の観光資源に付加価値を持たせ、現地セールスの実施、魅力ある観光コンテンツの情報発信、広域周遊観光商品造成、セールス・販売等を通じ、本市の認知度向上を図ることで、外国人の誘客を促進し、観光消費額の増加を目指す。 - 宿泊や観光施設など、観光関係事業者の従業員を対象として、外国人観光客の受け入れ体制の向上につながる研修を実施し、機運醸成を図り、将来の観光を担う人材育成につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 効果検証において情報発信の強化や効果的なプロモーション実施の必要性について指摘があったことを踏まえ、官民一体となった松江市インバウンド推進協議会に負担金を支出し、現地旅行会社・メディア招請、観光資源の磨き上げ、観光商品の造成・販売、産業との連携による情報発信等を行う。 また、インバウンド推進協議会と連携し、地域一体となりアメリカ現地セールスを実施する。					 市長による観光PR 旅行会社招請	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○松江市インバウンド推進協議会への負担金（負担金）20,009千円 - 国内外プロモーションによる観光商品の販売促進 - フランス市場において、現地旅行会社・メディアの招請・視察 - 産業との連携による観光PR等の情報発信 - 観光事業者への研修会の実施 ○アメリカにおける市長トップセールス（委託料・負担金）10,405千円						
主なKPI	①観光消費額（+112.18億円）②外国人宿泊客数（+6.44万人） ③観光宿泊客数（+52.46万人）④観光入込客数（+167.33万人） ⑤フランス人宿泊客数（+5,985人）⑥アメリカ人宿泊客数（+5,142人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.matsue.lg.jp/sos/hikikarasagasu/kankobu_kankoshinokoka/16142.html

事業概要：美肌産業の形成による浜田創生

継続

申請者	島根県浜田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,708,718千円 (1,293,259千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	全国に誇る美肌資源「美又温泉」（温泉総選挙2025「美肌部門」3年連続全国第1位、学術的・医学的エビデンス取得済）を活用し、「お肌に悩みのある方」や「美容に関心のある方」をターゲットとした「美肌観光」を確立するため拠点施設を整備して交流人口の拡大を図ります。併せて、デジタル技術を活用した「温泉手形」、「美肌倶楽部（仮称）」等を導入し、美肌をキーワードとした「温泉」、「食」、「体験」、「商品」等の有機的連携や、観光消費額の地域内循環を図ることで雇用の創出に取り組みます。以上のように、交流人口の拡大、雇用の創出、地域の活性化を目的とした「美肌産業の形成による浜田創生」を目指します。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○拠点施設の整備（既存建物の改築） ①日帰り入浴施設（外湯）約1,250㎡ ・内湯、外湯、サウナ（水風呂に美又温泉使用） ・炭酸風呂（女性：美肌温泉との相乗効果） ・貸切風呂3室（うち身体障がい者用1室、サウナ付き1室） ・有料休憩室2室、無料休憩室1室（デジタルサイネージ設置） ②既存建物（S44年築）除却及び駐車場整備等 ・既存建物除却及び駐車場整備（温泉スタンド、公衆トイレ、民間商業施設用地2区画整備含む） ・進入路及び温泉、水道管布設整備 ③備品整備（デジタル関係備品等） ④効果促進事業（ソフト事業）						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 686,652千円 ・設備整備・用地造成等 543,857千円 ・備品整備 55,000千円 ・効果促進事業 7,750千円						
主なKPI	①拠点施設建設にかかる観光消費額（+1億5,781万円） ②拠点施設利用者数（貸切風呂含む）（+31,220人） ③デジタル温泉手形利用者数（市内観光施設等連携人数）（+33,000人） ④デジタル温泉手形利用者数（市民割引）（+14,600人） ⑤デジタル温泉手形参画事業者数（+130事業者） ⑥美肌産業形成による美肌商品創出数（+210商品）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年9月公表予定 （効果検証） 令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：関係人口DXによる浜田市共創パートナー構築推進事業

新規

申請者	島根県浜田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,070千円 (17,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル技術を活用し、関係人口の活動の可視化や、関係人口に具体的な役割・関わりしるを提示することにより、関係人口が市への活性化に具体的かつ持続的に「貢献」してもらえる共創パートナーへと転換していく仕組みの構築を目指す。 ・本事業は、アンバサダー制度を起点とした関係人口経営を通じて、地域外人材による継続的な地域内消費及び地場産業への関与を創出し、地域経済における付加価値の増加を図るものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル実装を前提としながら、地域内外から多様な人材が継続的に関わり、地域課題の解決や価値創出に参画する持続可能なまちへと成長するため、「主体的な活動を生み出す関係人口(共創パートナー)拡大」を目的とした「関係人口DXによる浜田市共創パートナー構築」を確立する。 ・関係人口戦略の再設計 ・浜田市オフィシャルアンバサダー制度を起点とした関係人口DXによる事業推進						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・制度設計・事業運営体制基盤構築支援（委託料）11,880千円 ・オフィシャルアンバサダー制度の構築・実証（委託料）2,970千円 ・関係人口DX事業におけるデジタルコンテンツ等構築・導入 2,200千円						
主なKPI	①アンバサダー等の本市への滞在に係る経済効果額（+30,051千円） ②デジタル名刺読み取り回数（+15,600回） ③浜田市アンバサダー年会費(+15,345千円) ④ふるさと納税額（+28,253千円） ⑤企業版ふるさと納税件数(+3件)					URL	交付金の具体的使途・実施体制： 令和8年10月公開予定 効果検証：令和9年8月公開予定

事業概要：（仮称）デジタルスタジオの整備とデジタル人材育成プログラムの実施

継続

申請者	島根県出雲市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,140千円 (6,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市民のデジタルリテラシー向上とデジタル人材の育成を目的に、市内高校およびJR駅からアクセスの良い出雲科学館内に、高性能PC等のデジタル機器を備えた「(仮称)いずもデジタルスタジオ」を整備する。このスタジオでは、世代に応じた各種教室を開設し、STEAM教育の実践の場として活用するとともに、市民と地域企業の交流および世代間交流の拠点としても機能させることで、地域社会におけるデジタル人材の発掘・育成を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルスタジオを整備し、年代別に各種デジタル教室を開催することで、日常生活におけるデジタル分野の知識や技術を獲得させる。教室不開催時にも、学生の自習スペースやテレワークスペースとしても開放し、高校生と小中学生、高校生と会社帰りの社会人など、多様な世代間での交流が生まれるきっかけを作るとともに、市民のデジタルへの関心を深め、将来の本市産業を担うデジタル人材を育成し、市内高校生や県内大学生の地元就職促進も図っていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○施設運営費（4月～3月） ・委託料（事業周知のための情報発信、協力会社、団体、大学、高校との企画調整等）3,630千円 ・需用費（ソフトウェア関連、消耗品費）970千円 ○イベント運営費 ・各種教室実施委託料 2,000千円						
主なKPI	①学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内企業就職者数(+16人) ②デジタル人材育成プログラム参加者数(+1,500人) ③世代間イベント開催回数(+8回) ④ソフト系IT企業従事者数(+60人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1584318631258/index.html

事業概要：出雲市シティプロモーション事業

継続

申請者	島根県出雲市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,450千円 (18,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	アウトタープロモーションとインナープロモーションを両輪とする新たなシティプロモーションを展開し、市民の愛着や誇りの醸成、若年層を中心に人口流出を抑制し、都市部からのUIターンの促進を図る。 「出雲で働きたい若者」を増やし、「労働力不足」を解消していくため、多様な主体と連携した地域課題解決に向けた取組や、市民一人ひとりが、自分たちの住む地域に誇りを持ち、地域活動への参加意欲を高め、地域を活性化させるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の強みや魅力、取組を紹介する動画コンテンツ等を作成し、新規に開設するプロモーションサイトやSNSで進学期(高校3年生)、就職期(大学4年生)、結婚・子育て期など、各ライフステージのターニングポイントに着目した戦略的な情報発信を行う。					出雲市シティプロモーション事業 インナープロモーション 愛着 誇り アウトタープロモーション 魅力 認知 市民の参画 NPO法人など多様な主体と連携 1年目 新たなシティプロモーション戦略の策定 2年目～ 新たな事業・イベントの実施・情報発信 1～3年目 マーケティング・ブランディング等に精通した民間専門人材の起用 若者の県外流出抑制 産業の担い手確保 移住定住の促進 「出雲市」への人の流れの創出 IZUMO CITY ご縁がつくる、出雲を築らし	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○出雲市シティプロモーション事業 (出雲市シティプロモーション事業業務) 事業費17,747千円 ○出雲市シティプロモーション事業 (シティプロモーションアドバイザー業務) 事業費453千円						
主なKPI	①人口の社会増(転入者数－転出者数) (+1,200人) ②出雲に愛着や魅力・誇りを感じる高校生の割合 (+3.1%) ③学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内就職数(+31人) ④市・雇用推進協議会就職支援事業参加者のうち市内就職者率(+10%) ⑤市への相談や補助金等の利用により定住に結びついたUIターン件数(+12件) ⑥企業版ふるさと納税寄附額 (+26,670千円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1773120830474/index.html

事業概要：出雲力で拓く周遊滞在型、通年型の観光まちづくり事業

新規

申請者	島根県出雲市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	241,688千円 (21,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	インバウンド誘客により、観光入込客数の平準化を図るとともに、地域の若者から高齢者までが持つ多彩なスキルを活かして活躍する場を創出する。また、観光案内所の機能強化により、観光客の市内回遊と滞在時間の延長を図り、飲食・物販・体験等への立ち寄り機会を創出する。これにより、「周遊滞在型・通年型観光」への転換を図り、観光消費を地域内に循環させ、農業・漁業・ものづくり・商業などの地場産業の需要拡大につなげることにより、「観光地経営でなく 住んでよし、訪れてよしの観光まちづくり」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光動態調査の結果、出雲での観光は市内周遊が少なく、宿泊につながっていない通過型であることが判明している。周遊滞在型・通年型観光への転換により、地場産業の需要拡大と地域経済の維持及び拡大を図る。 (1)インバウンド受入体制整備 外国人観光客と地場企業をつなぎ、宿泊客の繁閑差をなくす取組として、DMOへの外国人材の配置等による、現地旅行会社の宿泊・観光・体験施設等の手配支援及び各シーズンの観光情報提供を行う。 (2)インバウンド受入環境整備 地場企業における観光客の受入・交流環境向上に向けた、食のおもてなし向上と多言語ガイド育成による環境整備と住民の活躍の場を創出する。 (3)観光案内所再整備 交流・周遊の起点として更に機能強化し、地域資源や事業者情報の効果的な発信、飲食・物販・体験等への立ち寄りの促進により、観光消費の波及を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・インバウンド受入体制整備事業（委託料）19,500千円 ・インバウンド受入環境整備事業（委託料） 2,000千円						
主なKPI	①年間観光消費額（+31.5億円） ②宿泊客延べ数（+107,936人） ③入込客延べ数（+2,231,543人） ④外国人宿泊客延べ数（+15,953人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1584318631258/index.html

事業概要：地域の未来をひらき、安心して暮らし続けられる中山間地域モデル形成事業

新規

申請者	島根県益田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,638千円 (14,546千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域自治組織（地域運営組織）の自立化に向けた基盤を整備し、持続可能な中山間地域づくりを実現する ・「地域づくり」の取組が加速し、益田市の特徴的な取組である「ひとづくり」との好循環の創出により、持続可能な益田市を実現する ・大学生の関係人口化、また、その深化を図り、将来の地域づくりの担い手候補の確保・育成を行う ・本事業の実施により地域自治組織が活性化し、地域自治組織に求められる効果が発揮され、住民の暮らしと安全の確保に向け、その基盤の強化へつながる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当市は人口減少問題に早くから着目し、平成26年に「人口拡大計画」を策定し、「ひとづくり」と「地域づくり」の好循環の実現による持続可能な益田市づくりに取組んできた。しかし、令和7年12月に策定した「益田市中心間地域振興基本計画」の策定過程で各分野における担い手の不足の実態が明らかとなった。ついては、主に共助の担い手となる地域自治組織の自立化に向けた基盤整備を図り、「地域資源の付加価値向上と販路開拓事業の実施」「関係人口創出・拡大のための対流促進事業」を促すことで、住民の暮らしと安全の確保を図る。					 【大正大学地域実習（2年生時）の様子。包括協定に基づき、毎年10名程度の学生が4週間、当市で実習を行う。】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域自治組織（地域運営組織）の自立化促進（報償費）165千円 ・持続可能な地域づくり推進事業（委託料）13,381千円 ・大学連携推進事業（委託料）1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からのU・Iターン者数（+15人） ②地域づくりに関する学び合いの場の参加者のうち、地域活動へのモチベーションが高まったという問いに対し「とてもそう思う」と答えた参加者の割合（+6%） ③地域自治組織と公民館が連携し、関係人口も巻き込みながら地域づくりを推進している地区数（+8地区） ④市主催の県外者向け関係人口・移住検討者向け市内イベントへの参加もしくは市内に設置された相談窓口を訪れた市外在住者数（360人） ⑤市主催の県外者向け関係人口・移住検討者向け市内イベント参加者の満足度（70%） ⑥観光消費額（+20.1億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.masuda.lg.jp/sosh/ikikarasagasu/seisakukikakukyoku/saisakukikakuka/3/6/index.html

事業概要：地域産品等を活用した商品開発・販路創出による地域活力創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,788千円 (6,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・大田市が誇る豊かな食、観光資源を活用した商品開発や販路拡大を支援し、地域経済の活性化を図る。 ・山陰道の全線開通に向け、大田市の魅力発信を強化することで、市内への周遊を図る。 ・ECサイトを活用した生産者の新たな販路拡大を支援し、持続的かつ安定的な収益及び販路の確保を図る。 ・当該事業で開発した商品や重点推進品目のブランディングを行うことで事業者（生産者）のノウハウ向上を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源を活用した新商品開発や商品の販路拡大など、積極的な取り組みを行う事業者に対して支援を行う。 また、ECサイトの運営や改修、生産者への個別指導等を行うとともに、市内事業者が開発した新商品や重点推進品目のブランディングを実施する。		大田市の豊かな地域資源  大田市の魅力発信 商品開発支援 ECサイトを活用した販路拡大 大田市への周遊促進(外貨の獲得)、地域活性化
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中小企業等活性化総合支援事業（5,100千円） ・商品開発等への取組みに対する支援（補助金） 5,100千円 ○ECサイト活用事業（1,000千円） ・ECサイト改修、生産者サポート等経費 500千円 ・重点推進品目等のブランディング支援経費 500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①農林水産出荷額（+1,200万円） ②ECサイト販売金額（+900万円） ③県外向け商品開発・販売企業（+15社） ④道の駅市内事業者取扱商品の割合（+2.5割）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.oda.lg.jp/ohda_cit y/city_organization/25b/4799/8961

事業概要：大田の未来を切り拓く人財の育成・確保促進プロジェクト

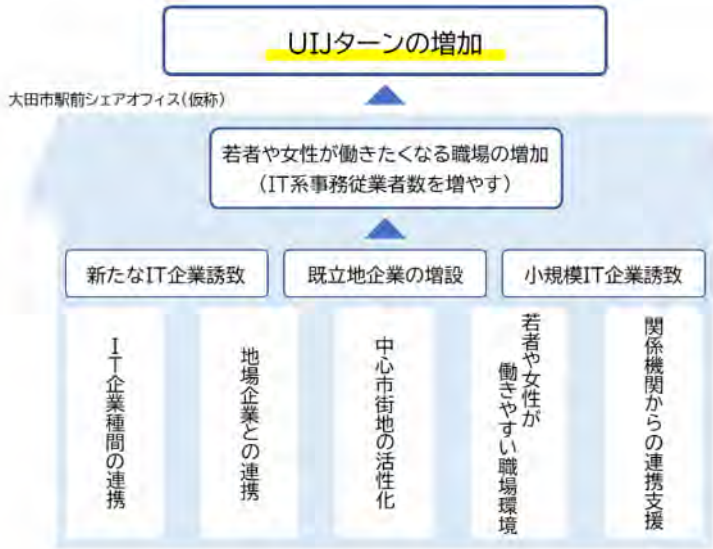
旧制度（推進）

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,480千円 (1,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	行政・産業団体・学校・企業等で構成される「大田地域人材確保促進協議会」等との密接な協力関係を活かす中で、若年層の移住・定住の前提条件となる地元企業への就職促進に取り組み、結婚・出産へとつなげ人口減少を抑制することで、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業の認知度向上の取り組みとして、小中学生を対象とした「大田市版キッズニア」や高校生とその保護者を対象としたオープン企業を実施する。また、UIターン就職促進のため、市内企業が自ら県外へ出向き直接PRを行うとともに、大学生のネットワークを活用して、市内企業の魅力を発信を行う。 【R8年度事業 経費内訳】 大田地域人材確保促進協議会への委託（1,500千円） （内訳） ・「大田市版キッズニア」イベント開催経費 400千円 ・高校生とその保護者を対象としたオープン企業開催経費 300千円 ・県外就職イベント開催経費 600千円 ・「おおだ学生応援隊」委嘱、学生主催のイベント開催経費 200千円		
	<pre>graph TD OdaCity[大田市] -- 委託 --> Association[大田地域人材確保促進協議会] Association -- ターゲット --> Target1[市内の小中学生と保護者 小学生 + 保護者, 中学生 + 保護者] Association -- ターゲット --> Target2[市内の高校生と保護者 高校生 + 保護者] Association -- ターゲット --> Target3[県内外の大学生 大学生] Association -- ターゲット --> Target4[県外在住者 UIターン希望者] Target1 --> KidsNeria[大田市版キッズニア] Target2 --> OpenCompany[オープン企業] Target3 --> JobEventHiro[就職イベント(広島) おおだ学生応援隊 + 学生企画就職イベント] Target4 --> JobEventHiro Association -- 意識改革, 情報提供 --> CityEnterprise[市内企業] CityEnterprise -- 参加による情報発信 --> InfoDissemination[情報発信]</pre>		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン者数（+15人） ②就職イベントへの市内企業の平均参加率（+30.0%） ③市内高校生とその保護者の市内企業を10社以上知っている割合（+15.0%） ④市内高校生の就職者数の内、市内就職率（+9.0%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/4799/8961

申請者	島根県大田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,100千円 (32,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・2027年に迎える石見銀山世界遺産登録20周年、発見500年を絶好の契機とし、遺跡の魅力・価値発信、地域の伝統や資源を活用した観光事業の強化や関係人口の拡大を図ることで、地域経済を拡大させ、それを文化資源に再投資させる好循環を生み出すことで、持続的で発展的な文化観光を推進し、独自の魅力ある地域づくりや地場産業の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 文化庁の「文化観光推進補助金」なども活用しながら、情報発信の強化を図るとともに、世界遺産センターの展示更新等やエリア内の文化資源のデジタル化・外国語対応を行い、来訪者が石見銀山の歴史的・文化的価値が理解しやすくなるよう環境を整備する。また、各種SNSやインフルエンサーを活用した情報発信や同じく鉱山を有する国内外の都市との交流促進を通じて、鉱山や歴史・文化に関心の高い観光客の誘致を推進する。加えて、域内の2次交通のあり方を検討することで観光施設の周遊性の向上や、民間が行う石見銀山にまつわる自然・文化・伝統などを活用した観光事業の実施に係る補助など、観光消費額増加に向けた各種取り組みを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 1. 広報周知、機運醸成に関する事業 ・広報プロモーションのための素材制作、広告掲載（委託料）4,100千円 ・情報周知のためのツール制作（委託料、印刷製本費）6,000千円 ・特設ページ開設、記事掲載支援（補助金）1,000千円 ・イベント開催経費（謝金）300千円 2. 誘客促進、消費拡大に関する事業 ・経済効果が期待される企画への支援（補助金）20,000千円 ・受入促進支援（補助金）1,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+12.9億円） ②観光入込客数（+142千人） ③宿泊者数（+22,397人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/4799/8961

事業概要：若者や女性の活躍を応援するシェアオフィス開設支援事業

新規

申請者	島根県大田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,475千円 (84,375千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大田市駅前の中心市街地に民間活力を活用したシェアオフィスを新たに整備し、都市部からの新たな企業・人の流れを創出します。 新規誘致、既存企業の拡張、クリエイターの流入など、多様なIT関連企業の集積・交流を促進し、イノベーションが生まれるビジネス環境を提供します。 若者や女性が魅力を感じる多様な雇用機会を創出し、中心市街地の賑わいと地域経済の活性化を実現します。 近接する子育て支援拠点と連携し、働きながら安心して子育てができる環境を目指します。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・施設の利用促進に資する情報発信を支援（補助金）2,000千円 ・地域で働くことを提案するプロモーションを実施（委託料）1,550千円 ・地域で働くライフスタイルを視覚的に訴える動画制作（委託料）825千円 ○拠点整備事業 大田市駅前シェアオフィスの整備 ・建築物本体工事、設備、備品に対する支援（補助金）80,000千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+25人） ②シェアオフィスで勤務先する従業員数（+30人） ③シェアオフィスで勤務先する従業員のうち、若者又は女性数（+21人） ④IT系誘致企業と地場企業との連携した取り組みの数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/4799/8961

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：地域と都市が共創するTaMaRiBaづくりプロジェクト～新たな関係人口の創造～

旧制度（推進）

申請者	島根県江津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,843千円 (38,644千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	新たに地域での取組みを担う一員として、関係人口や交流人口の流入を促進し、当該人材と地域が共創し、創造的な取組みの実践の場づくりを行政がバックアップを行い、4者（関係人口・交流人口・地域・行政）の取組みにより、地域の賑わいが創出される。併せて本取組みの様子を、在京テレビ局を活用して発信することで、本市の知名度の向上、関係人口および交流人口の増加が見込まれる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内東部の菰沢公園を拠点に、地域住民、行政、都市部の外部人材や企業が共創し、公園の新たな魅力化に取り組む中で、新たな関係人口を創出するプロジェクトです。様々なメディアと連携した戦略的な情報発信を行い、外部人材の誘致や公園の付加価値の検討を行うとともに、公園の利便性向上のための施設西部を進め、地域資源の価値創造と持続的な賑わい創出を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ・マスメディアを活用したシティプロモーション事業（委託料）27,500千円 ・ソーシャルメディアを活用したシティプロモーション（デジタルマーケティングを活用した情報発信）事業（委託料）5,942千円 ・菰沢公園来場者へ向けた情報発信（委託料）1,000千円 ・菰沢公園での屋外Wi-Fiの利用（利用料）202千円 ・企業向けアウトドア研修施設としての整備（委託料）2,000千円、（消耗品費）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+30人） ②菰沢公園内キャンプ場の利用者数（+950人） ③菰沢公園でのイベント実施回数（+16回） ④GOTSU Crew（市が任命する、関係人口と定義され、市に深く関係し共創しようと活動する人）の人数（+25人）		URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.gotsu.lg.jp/life/1/11/53/

事業概要：地域の脱炭素化を起点とした「GO▶GOTSU！山陰の創造力特区」の実現

継続

申請者	島根県江津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	199,500千円 (145,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域経済活性化を目指し、地域内企業を集めた官民連携プラットフォームを構築し進めることで、地域内の経済循環と可処分所得増加を図る。 ・地域内経済循環を自律的なものとするため、次世代自動車を使った公道カートレースを実施し、本地域の付加価値向上を狙う。地域外の脱炭素関連企業との連携を行い、地域内に新たな産業創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 脱炭素化を起点とした地域経済循環の確立と、地域の魅力向上による自律的發展を目指すもの。官民連携プラットフォーム「江津市GX協議会」を設立し、地域内企業による省エネ・創エネ事業を推進して経済循環を創出する。また、次世代自動車による公道カートレースを定期開催し、「カートレースの聖地」として観光資源化や実証フィールドの提供を行うことで、新たな基幹産業の創出とにぎわい創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○官民連携プラットフォームの運営（補助金）計7,600千円 ・GX関連窓口業務に係る人件費 6,300千円 ・調査、アンケートに係る印刷、郵送や会場使用料など 1,300千円 ○次世代自動車カートレースの開催 計138,300千円 ・次世代自動車カートレースのPR経費（広告宣伝費）20,000千円 ・次世代自動車カートレース開催運営経費（委託料等）114,900千円 ・カートレースの資金調達に関するの事務費（会場使用料等）3,000千円 ・カートレース開催に係る消耗品費、印刷費、郵券料 計400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+18人） ②市内企業アンケートによる脱炭素の取組みに関心がある企業の割合（+23%） ③次世代自動車カートレースを通じた連携地域外企業数（+9社） ④官民連携プラットフォーム構築数（+1プラットフォーム） ⑤企業の実証フィールド、地域企業とのイノベーション、新たな基幹産業の創出事業数（+3事業） ⑥カートレースを観光資源ととらえるコミュニティのモデル地区設定数（+2コミュニティ）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gotsu.lg.jp/soshiki/2/38860.html

事業概要：「えすこな雲南市」の実現に向けた総働チャレンジの推進

継続

申請者	島根県雲南市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,264,154千円 (698,227千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ みんなが幸せに暮らせる持続可能なまち「えすこな 雲南市」の実現に向け、資金や人材を効果的に取り込みながら「雲南の暮らしの再構築」「雲南を学ぶ・活かす」「雲南ならではの価値創出」に一体的に取り組み、人口減少社会にあっても、地域の持続性を高め、人材の力を最大限に引き出しながら、雲南がもつ価値・魅力をさらに高めていく。これらの成果を相互に循環させ、市民のウェルビーイングの実現をベースに、産業経済への波及、若者や女性が楽しく働き、楽しく暮らせる環境を創出し、人口減の抑制・増加につなげていく。 ・ 小さな拠点を核として地域をあげて「総働」で推進し、リアルに変わっていく場を多くつくりだすことで、地方創生のインパクトを着実に生み出していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 小さな拠点を中心に多様な主体との協働を進めながら、地域の共助や生活環境などの暮らしの基盤の再構築を図る。また、雲南らしさをベースとした学び合いの場を多分野で創出し、人材育成・確保を進める。えすこな雲南市の取組を支える拠点を整備するほか、エリアプラットフォームの形成を進め、空き家の利活用を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・えすこに暮らす「雲南の暮らしの再構築」 352,659千円 (「小さな拠点」による複層的な地方創生推進(交付金)、資産集約・活用等) ・えすこに育む「雲南を学ぶ・活かす」 138,522千円 (多様な教育活動の推進、雲南らしさをベースとした学びの創出等) ・えすこに創る「雲南ならではの価値創出」：経済資源循環等20,494千円 ・えすこな人の流れ：関係人口創出(委託料等) 11,496千円 ・えすこなお金の流れ：応援性資金の構築(委託料) 7,500千円 ○拠点整備事業 ・小さな拠点施設整備 160,556千円 ○インフラ整備事業 ・空き家活用事業補助金等 7,000千円						
主なKPI	①地域の定住人口数(転出入数) (+172人) ②地域活動や市民活動に参加している市民の割合 (+8.9%) ③将来も雲南市に貢献したいと思う高校生の割合 (+7.5%) ④観光消費額 (+10.28億円) ⑤U I J ターン数 (+1,011人) ⑥応援性資金の流通総額 (+26,000千円)					URL	※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/shiseijouhou/jouhoukoukai/sousei/index.html

事業概要：雲南版ローカルゼブラ企業を中心とした経済・資源循環事業

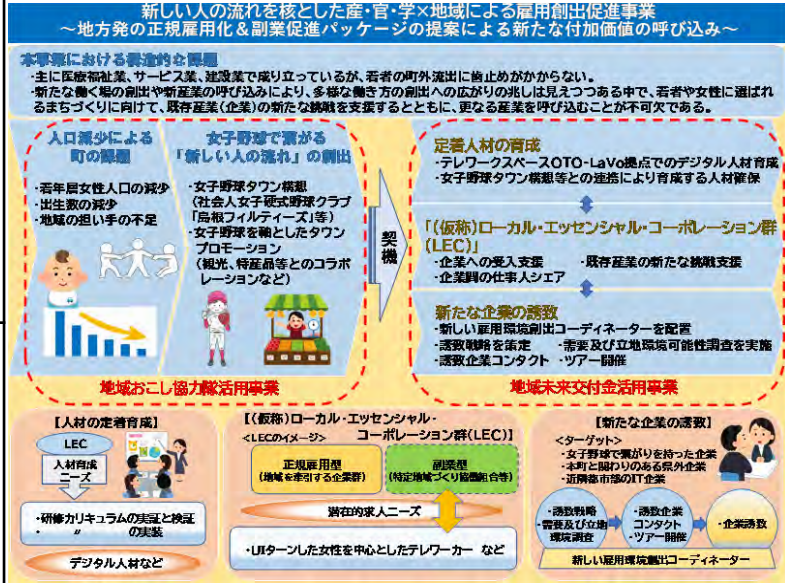
新規

申請者	島根県雲南市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R15年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,484千円 (25,527千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、雲南版ローカルゼブラ企業の成長促進を核に、企業団地整備、事務系職場誘致、地域交流拠点の形成を一体的に推進することで、地域における経済・資源・人の好循環を創出することを目的とする。多様な働き方や良質な雇用機会を生み出し、若者や女性が地域に定着・参画しやすい環境を整備することで、地域経済の持続性と競争力を高める。また、域内事業者との連携や分業を通じて付加価値創出を促進し、商店街活性化や空き家活用にも波及させることで、市民のウェルビーイング向上と人口減少の抑制につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 雲南版ローカルゼブラ企業の育成・誘致を軸に、企業団地整備と事務系職場の受け皿づくりを進めるとともに、JR木次駅エリアの古民家を改修し、オフィス、コワーキング、カフェ等を備えた地域交流拠点を整備する。企業成長と地域連携を促進し、経済・人材の循環を生み出す。					 和田邸プロジェクト 神原企業団地	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ローカルゼブラ企業成長促進事業 5,500千円 （1）兼業副業人材の活用機会を創出するセミナーの開催 （2）兼業副業人材の導入に関する個別相談 （3）市内事業者への導入支援を通じたマッチングの促進 ○拠点整備事業 ・和田邸を核としたローカルゼブラ企業集積拠点 施設改修費 等30,042千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値増加額（+520,000千円） ②新規雇用者数（+50人） ③U I Jターン数（+1,213人） ④ローカルゼブラ認定企業数（+52社） ⑤副業・インターン受入れ企業数（+54社） ⑥継続取引社数（+69社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/shiseijouhou/jouhoukoukai/sousei/index.html

事業概要：新しい人の流れを核とした産・官・学×地域による雇用創出促進事業

継続

～地方発の正規雇用化&副業促進パッケージの提案による新たな付加価値の呼び込み～

申請者	島根県川本町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,700千円 (9,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「女子野球タウン構想」を契機として若者や女性に選ばれる多様な就業機会を創出する ・正規雇用化を伴って新たな付加価値を呼び込み、就業及び産業構造そのものの転換を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 就業構造の転換につながる、若者や女性に選ばれる多様な就業機会の創出に向けて、「女子硬式野球クラブチーム」の始動に伴い、滞在・交流人口の増加が見えてきた好機を捉え、次代を担う人材を育成し定着を促す 企業誘致や特定地域づくり事業協同組合等を軸とした新たな雇用環境の創出に取り組むと共に、次代を担う人材の育成に取り組む 【R8年度事業 経費内訳】 ・人材育成研修カリキュラムの実証（委託料）4,000千円 令和7年度に構築したデジタルスキルを中心とした人材育成カリキュラムの実証 ・企業誘致の推進（委託料）5,500千円 企業誘致戦略に基づき、誘致企業のマーケティングや視察ツアーの実施						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①就業者数（正規の職員・従業員）（+15人） ②企業群に参画した法人数（+10社） ③社会増減（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	島根県川本町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	59,400千円 (55,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・山陰地方初となる社会人女子硬式野球クラブチーム「島根フィルティーズ」を実践主体として、女子野球大会や野球教室、合宿誘致等を継続的に実施することで、交流人口や関係人口の増加を図る。 ・飲食業や宿泊業などへの経済的波及効果を生み出し、スポーツツーリズムを新たな地域産業として育成する。 ・大会開催や合宿誘致を通じて反復的・滞在型の来訪を促すことで、地域経済への継続的な波及効果を生み出す仕組みを構築するものであり、地場産業の経営基盤強化及び地域内経済循環の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内2つの野球施設（川本町民球場・川本西グラウンド）を役割分担のもとで機能強化し、イベント開催から合宿・練習までを全面的に支える環境整備を行う。 ※本申請では川本西グラウンドが対象 (1)「川本町民球場」の機能高度化（交流・イベント拠点化） ・大会運営の効率化及び観戦環境の向上 ・交流イベントの魅力向上と収益機会の創出 (2)「川本西グラウンド」の再生（合宿・野球教室拠点化） ・合宿・野球教室に対応するためのグラウンド改修 (3)女子野球イベント・合宿の一体的運営 ・「島根フィルティーズ」を中心とした女子野球大会や野球教室、合宿誘致等を組み合わせた滞在型プログラムの構築 (4)事業のモデル実施及び効果検証と横展開 ・スポーツツーリズムの実証結果を踏まえ、他競技への横展開を検討し、独自のスキームを構築						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ～受入基盤整備フェーズ～ ・川本西グラウンド改修工事（合宿・野球教室拠点化） 55,000千円 排水機能整備、黒土舗装等グラウンド整備、バックネット等野球設備整備						
主なKPI	①スポーツツーリズムによる交流人口数（+1,650人） ②スポーツツーリズムによる宿泊者数（+1,350人） ③ふるさと納税による寄附金収入額（+5,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：美郷町商業活性化賑わい創出施設整備事業

継続

申請者	島根県美郷町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,014,584千円 (132,828千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	①飲食を通じた人々の交流・集いの創出 商業の営みの中には、「買い手と売り手」、「生産者と販売者」といった、人と人とのつながりが必ず存在する。特に飲食業は人と人とのコミュニケーションを生み出す場であり、飲食を通して人々が集い、活発に交流することで「賑わい」を創出し、町全体の活性化の実現を目指す。 ②産直市を核とした物販・小売業の強化 商業及び農林産物販売の重要拠点である産直市を活性化させることにより、町内外から美郷の魅力ある産品を買い求める人々を集客し外貨の獲得を強化する。出品農家、加工事業者の収益性を高め生産意欲の向上へ寄与するとともに町民の日常的な買い物の場の確保し、安定した収益による施設の自立性を高め、持続可能な体制確立を図る。また、移動販売機能などの高齢者に寄り添った事業を展開し、美郷町民が暮らし続けるために必要なサービスを1箇所です複数提供する拠点づくりを目指す。 ③美郷町の魅力を活かした、子育て世代で賑わう町のシンボルの創出 美郷町の持つ魅力を町内外に発信し、併せて子育て世代向けの町の魅力を活かした独自の施策や環境整備を行い、子どもたちの声に満ち溢れた町のシンボルとなる場の創造を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 美郷町全体の商業活性化・賑わい創出につなげていくため、役場や小中学校、図書館等が集積し幹線道路の沿線で町内外からもアクセスしやすい「産直みさと市」周辺地区の再整備し、賑わい創出拠点を整備する。飲食、産直物販に加え、未就学児向け屋内遊具施設、チャレンジショップ、文化発信兼イートインを含む複合型施設とし、住民生活の基盤であると同時に町外からの集客を図り、施設の収益性を高め自立性の確保を図る。併せて町内外からの人々の交流を促し賑わいの創出に繋げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・商業活性化アドバイザーの設置（委託料）5,920千円 ・産直市活性化協議会の設置（委託料等） 2,000千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 商業活性化賑わい創出拠点整備 99,908千円 ・委託費 工事監理、実施設計 25,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①賑わい創出拠点施設年間来客数(レジカウント数)（+9万人） ②施設全体の売上額（+1億3千5百万円） ③観光入込客数（+1万2千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.shimanemisato.com/vitality

事業概要：井原コミュニティセンター整備事業

新規

申請者	島根県邑南町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	821,029千円 (127,221千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・4自治会が統合しスタートした地域運営組織の拠点として、また、地域住民が相互に協力・連携しともに支え合うことを目的にした交流活動・学習活動を通じて地域づくり、人づくりを進める地域活性化の拠点とする。 ・地域を支える伝統芸能が根付いておりこれらの伝統を将来に残し文化的な情報発信を担う施設とする。 ・統合した自治会の旧拠点施設の修繕、更新を行わず、整備する施設に機能を集中させる事により、財政的な持続可能性を高める。 ・隣接する民営の産直市と一体的な活用を図ることで地域活性化の効果を高めることや地場産業の支援にもつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・地域住民アンケートや地域拠点施設整備検討委員会でまとめた地域活性化に必要な機能を備えた新たな施設の整備（延床面積 850㎡）を行う。また、災害時には避難所として機能する事を想定した構造とすることで高齢者や障がい者、子育て世代などの、多様な世代が関わり合え、安心安全な地域活動を行う拠点とする。 ・隣接する民営の産直市との連携による催しの開催で、当該施設と一体的に交流・にぎわいを創出し地域活性化に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・測量設計委託料 47,766千円 ・工事請負費 79,455千円						
主なKPI	①関係人口の増加(+190人) ②施設利用者数(+5,000人) ③にぎわい創出イベントの開催(+3回) ④地域活動・地域運営会議への若者世代参加者割合の増(+40%)					URL	令和9年9月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

事業概要：デジタル人材育成と交流拠点創出事業

継続

申請者	島根県津和野町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,043千円 (6,670千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル教育環境の充実をきっかけとする企業誘致、誘致企業の増加や地場産業のデジタル領域の拡大による雇用創出など、デジタルにまつわる雇用環境のあるまちを目指す。 ・これによって、若い世代が求める職種・働き方、若い世代が求める生活水準が満たされ、地方における豊かな生活スタイルが自然と形成されること、また、こうした動きが若い世代に評価されることで高校卒業後や進学後の就職時における地元回帰の流れにつながるなど、若い世代が充実し、意思を持って住むまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 遊休施設を活用し、町民と町外からの訪問者（関係人口）がデジタルを学び合い、新たな共創・交流機会の創出とIT人材の誘致を目指す。交流拠点のコンセプトを『日常的に学びと交流のある町のコミュニティ拠点』として、コミュニティ拠点の運営や自立的な施設を目指した宿泊・滞在施設（テレワーカーやワーケーション利用者をメインターゲット）を運営する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 コミュニティ拠点運営事業と宿泊・滞在施設運営事業を一体として実施するため、指定管理者へ各種業務について委託を行う。 ・マーケティングとプロモーション 2,168千円 ・デジタル人材育成と交流施策企画関連費用 3,195千円 ・デジタル教育プログラム講座開講費用 1,307千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者(UJIターン者)数（+11人） ②デジタル教育プログラム参加者数（+200人） ③宿泊・滞在施設の稼働率（+50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：スポーツ拠点施設と観光資源を融合した新たな魅力創出によるまち活性化事業

新規

申請者	島根県津和野町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	578,157千円 (72,616千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・スポーツクライミングに焦点をあてたスポーツ拠点施設整備により公園全体の魅力を高めることにより、県内外から人を呼び込み、周辺商業施設への人の流れを構築することで、周辺地域の活性化を図る。また、既存の観光資源との新たな組み合わせによる観光モデルを創出することにより、立寄型から宿泊型への転換を目指す。 ・スポーツクライミングを町のスポーツとして魅力を高め、県内外に情報発信することでスポーツツーリズムを推進し、新たな人の流れを呼び込むとともに、既存の観光資源や様々な地場産業との連携により、新たな観光モデルの創出を行うことで、来訪者を増やし、経済への好循環を創出する。また、子育て環境の充実との相乗効果により移住、定住者を増やす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツクライミングの大規模な大会や体験会などを行い、県内外から愛好者や選手、競技関係者等呼び込むため、スポーツクライミング施設の建設及び駐車場、トイレの整備を行う。また、子育て世代を中心に家族で楽しめる空間とすることで公園全体の魅力を高め、新たなスポーツクライミング愛好者を発掘するため、遊具を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 - 施設を活用した大会開催を支援（補助金）500千円 - スポーツクライミング施設の魅力化向上事業 2,773千円 - 備品 高所作業車 6,380千円 デジタイマー152千円 ○拠点整備事業 - 建築物本体工事 ボルダー施設建設基本・実施設計 13,441千円 - 設備整備及び用地造成工事 - 日原特定公園駐車場及び入口周辺造成工事設計 10,000千円 - 遊具設置工事設計 3,000千円 - 多目的体育館空調設備設置工事 36,370千円						
主なKPI	①町へのUIターン数（関係人口や交流人口を含めた増加数）（+470人） ②町内における年間宿泊者数（+1,000人） ③スポーツクライミング施設利用者数（+1,968人） ④施設を活用した大会及び体験会の開催回数（+6回） ⑤地域内におけるスポーツクライミング競技者数（+25人）					URL	令和8年9月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：人の還流による「滞在人口」創造事業

継続

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	505,000千円 (141,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若者を中心とした滞在人口の創出による人材還流を促進し、結果的な移住選択者の獲得により人口増を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 移住定住を入口としたアプローチではなく、滞在人口を戦略的受け入れていくことによって、新しい人の流れを作りつつ、結果的な移住等による地域人材の獲得していく。これらを実現するための、新たな価値創出のための新コース創設や、デジタル施策に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 「大人の島留学（短期・中期）」事業の実施（委託料）：15,000千円 大人の島留学制度を更に価値ある事業化するためのコースの新設（委託料）：40,000千円 バーチャル島留学アプリの開発（委託料）：7,700千円 「地域共創科」創設による「島留学（高校生）」の更なる魅力化と高校生DAOによる新たな価値創出（委託料）：41,200千円 「保育島留学（保育園）」の実施（委託料）：11,000千円 滞在者還流の仕組みづくり（委託料）：8,800千円 滞在人口と関係人口向けワークシェアプラットフォーム「sharework」の開発（委託料）：17,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じて滞在した者の内、滞在期間終了後に移住・定住した人口数（+64人） ②事業を通じた年間の滞在人口数（+190人） ③事業を通じた教育機関、自治体連携機関数（+13団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	316,666千円 (33,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	デジタルを活用して地域内外の人材・知識をつなぐ仕組みをつくと共に、外部の人材が島に訪れやすくする環境を整備する事で、事業経営・専門スキルの継承の促進を図る 地域内電子通貨を導入し、同時に地域の消費ニーズを可視化することで、域内消費の市場縮小の抑止を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業承継・創業、人材確保、域内消費の縮小といった構造的課題を解決するため、デジタル技術を活用した「マッチングプラットフォーム」および「地域電子通貨」を中心とした事業を推進する。人材・スキルの可視化とマッチング、外部人材受入環境の整備、電子地域通貨による消費喚起とデータ可視化、デジタル発信基盤整備を通じ、継業・創業の促進と持続可能な地域経済循環の実現を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・マイナンバーカード連携機能実装による個人へパーソナライズされた情報配信機能構築：3,740千円 ・事業者向けCRMシステム(地域電子通貨サービス機能拡張)構築：8,250千円 ・システム運用保守：11,163千円 ・普及促進活動：10,180千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①町内事業所における継業・創業件数（+12件） ②町内事業所への働き手の増加数（+27人） ③町内事業所の事業開始前との年間売上対比における経年のポイント増加数の平均（+6.0ポイント）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.town.ama.shimane.jp/chousei/zaisei/chisou

事業概要：海士町ブランドのD2C化から繋げる人材還流促進事業

継続

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	326,400千円 (135,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	関係人口に「海士町オフィシャルアンバサダー」に登録してもらうことで、関係人口の可視化とまちづくりへの参画を促しながら、来島促進を図ることで、結果的な移住定住者の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 海士町の関係人口をオフィシャルアンバサダー（年会費制）に登録してもらうことによって、関係人口コミュニティの形成と地域への関与促進を目指す。そのために、デジタル名刺、DAO、XRなど新興技術を含めたデジタル実装を積極的に取り組むことによって、関係人口DXによる地域経営構造のアップデートに取り組む。これによって移住定住や二拠点居住者の増加による地域経営人口の増加を実現し、持続可能な地域を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海士町ブランドD2C化プロデュース事業（委託料）64,700千円 ・関係人口DAOの実装等デジタル実装事業（委託料）64,800千円 ・都市部（東京・大阪）における海士町ブランドのコンセプトショップの展開（委託料）5,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+23人） ②海士町オフィシャルアンバサダー登録者数（+450人） ③海士町オフィシャルアンバサダーカードを通じた紹介者のうち実際に来島した人の数（+420人） ④海士町オフィシャル法人アンバサダー制度加入数（企業または団体など）（+7団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

事業概要：高度観光人材の育成を核とした持続可能な観光地域づくり事業

継続

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	429,400千円 (137,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高度観光人材の育成を軸に、観光産業の収益多様化と持続可能な成長を実現することを目的とする。 ・官民協働・地域間連携を強化し、観光収益を地域の自然・文化資源の保全・再投資につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光産業の基盤強化に向け、経営・デジタル・食・ITの分野で高度観光人材を育成し、地域の競争力を高める。併せてデジタル地域通貨で観光データを可視化し、施策立案に活用。ジオパーク資源を基に体験型商品を開発し、地域経済循環を促進する。さらに人材育成と評価制度を整え、持続可能な観光経営システムを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○高度観光人材育成事業 ・企画開発及び実施、効果測定（委託料）68,000千円 ・広報及びブランディング（委託料）4,000千円 ・人材候補者の採用広報等（委託料）5,800千円 ○デジタル地域通貨とデータ収集基盤の整備事業 ・デジタル地域通貨等を用いたデータ分析及び活用（委託料）8,000千円 ・観光客への普及啓発（委託料）2,000千円 ○ジオパーク観光の魅力化のための多様な生態系の創出事業と観光商品開発 ・ジオパークを核とした新規観光商品造成業務：10,000千円 ・自然文化の調査・分析（委託料）6,000千円 ・ジオパーク観光の魅力につながる海洋環境整備（委託料）34,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光消費額（＋350,000千円） ②高度観光人材育成数（＋30人） ③観光関連の労働生産性（一人あたり）（＋3,055千円） ④離島ならではの文化・環境を主とした新規観光商品の商品開発数（＋5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.ama.shimane.jp/chousei/zaisei/chisou

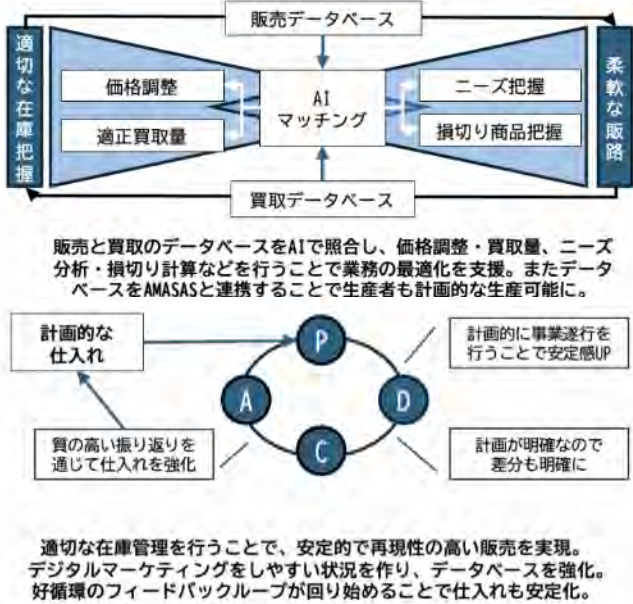
事業概要：離島発、企業の新たな拠点づくり事業

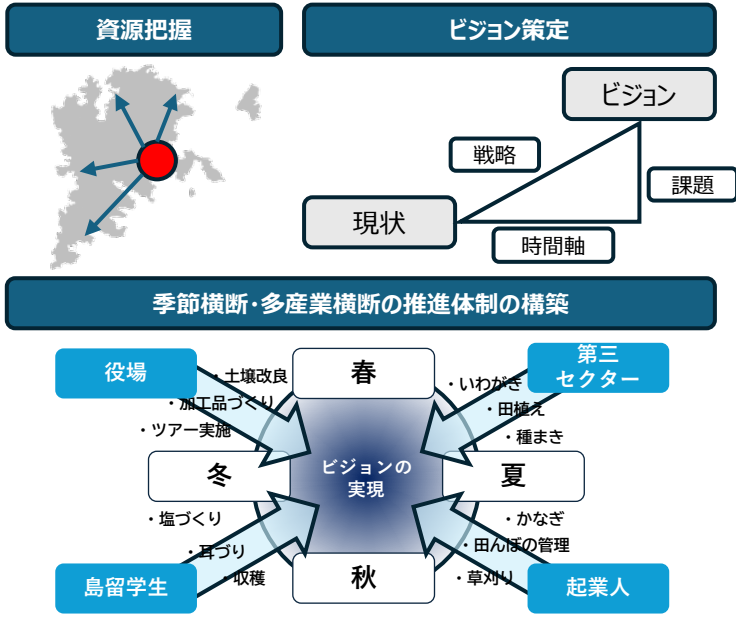
継続

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	198,000千円 (66,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の事業者と都市部の企業との連携・提携を推進することで、ノウハウの継承や都市部の企業が持つリソースの活用により、地域外の仕事を取り込み、外貨を稼ぐ事業者を増やすことを目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の事業者が地域外の仕事を取り込んでいくことで、ノウハウを持つ都市部の企業を呼び込むとともに、地域の事業者との連携・提携を進め、ノウハウの継承や都市部の企業が持つリソースを活用・連携することを通して、外貨を稼ぐ事業者を増やしていくことを目指す						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①地域内外事業者との連携促進業務委託費 10,000千円 ②スタートアップ企業や社会起業家等の呼び込みと地域事業者/若者人材との共創による事業または事業主体の創出業務委託費11,000千円 ③「生活」「暮らし」における受入体制・コンテンツの改善業務委託費 8,800千円 ④企業の呼び込みに向けた情報発信・プロモーション9,900千円 ⑤AI活用前提のデータ基盤整備とまちづくりへの生成AI活用の推進 13,300千円 ⑥企業の受入の本格運用におけるコーディネーターの課題抽出、解決策検討、研修実施（企画開発・研修費・業務委託費）7,000千円 ⑦地域事業者または地域の若者人材への生成AI活用による業務改善研修等の実施 6,000千円						
主なKPI	①地域における経済波及効果(+27,000,000円) ②本事業を通じて海士町に地域拠点を設置した都市部企業の数(+9事業所) ③本事業を通じてお試しワーケーションを実施した都市部企業の数(+15事業所) ④本事業を通じて海士町での地域拠点づくりに関心を持った都市部企業の数(+30事業所)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(効果検証) http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

事業概要：産業間をシームレスに繋げる物流DX化事業

新規

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,800千円 (37,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・離島という条件不利地域において、限られた輸送キャパシティの中で優先順位をつけ物流全体の統制を高度化すること ・物流の効率化を通じて、生産力・販売力を強化し、PDCAサイクルが適切に回る状態を構築する ・物流DX・AI化を行い、海士町の事業者だけではなく、他自治体や民間事業者への展開を行うことでスケールメリットを最大化する ・将来的な産業クラスターを造成するためにも最初のステップとして、地場産業における物流の支援を高めていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、離島である海士町において、一次産業と物流を持続可能に維持・再生するため、DX・AIを活用した物流統制基盤を構築する取り組みである。生産・加工・保管・販売・出荷までの情報を一気通貫でデータ化・可視化し、需要・供給・在庫・輸送制約を踏まえた意思決定を可能にすることで、計画性を回復する。AIを活用した需要予測や出荷優先順位の提示により、限られた輸送キャパシティ下でも取引総量と収益性の最大化を図るとともに、生産者に見通しを提供し不確実性とリスク偏在を緩和する。これにより、生産意欲の回復と地域経済の安定化を実現し、将来的には周辺地域や海外展開も視野に入れた離島発の物流DXモデルの構築を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・物流データ基盤構築事業（27,300千円） （物流システム開発費、データベース連携費など） ・物流DXを加速させるAI活用事業（9,500千円） （AIモデル・テストプロダクトの開発や活用導入に向けた研修など） ・備品購入費（1,000千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関連セクターの付加価値額向上（+55,000千円） ②物流システム導入事業者（+3事業者） ③生産・販売における歩留率（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	115,000千円 (40,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・これまで自然資源を把握できていなかったからこそ、森林・海洋・田畑といった自然資源の可視化・データベース化を推進 ・ファクトベースの議論を通じて、第一次産業従事者との共通のビジョンを策定すると同時に、働き方の柔軟性を加速化 ・農業・林業・水産・畜産といった特定分野での就労ではなく里山里海を守る人材としての就労機会の創出と支援組織の組成を行う ・効果として第一次産業従事者の増加と所得の向上を実現する取り組み						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、海士町において分断されてきた森林・海洋・一次産業を統合的に再設計し、里山里海循環を基盤とした持続可能な地域経営を確立する取り組みである。森林・農地・海洋の状態をデータで可視化し、科学的根拠に基づく意思決定を可能にすることで、これまで把握できていなかった機会損失を削減する。あわせて、関係者が共通データのもとでビジョンと役割を共有し、横断的に事業を推進する体制を構築する。さらに、林業・漁業等を季節横断で担う循環型ワークスタイルを確立し、資源リスクと収入リスクを分散させることで、自然資本の保全と収益性向上を両立させ、地域の「稼ぐ力」を最大化することを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・里山里海関係者リサーチ業務（委託費）18,000千円 ・里山里海自然資源測量・データベース化業務（委託費）22,000千円						
主なKPI	①本事業従事者の平均収入の向上：（+900千円） ②特定地域づくり事業協同組合（海士町複業組合）への就職数増加：（+10人） ③里山里海循環プロジェクトに対するふるさと納税寄付額の増加：（+10,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

新規

本事業が目指す「基」を基軸にした関係人口循環

多世代型
関係人口コミュニティ

イベントの実施

基参りの提案・案内

周辺のまっかげづくり

宿泊地・必要用具の手配・貸出

納骨

基の管理に悩む
借出者支援

最外からの申し込み
(ふるさと納税)

婚活を考える島民の
生劇申し込み

基の管理をめぐる悩みを解消しつつ、
海士町とのつながり自体を維持する。

事業概要：文化観光による地方創生推進モデル構築事業

新規

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	101,850千円 (56,450千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	【目的】①観光客の「関係人口化」モデルの構築（短期×中長期での経済循環の構築） ②文化の継承と地域コミュニティの強化（自立的×持続可能なモデルの構築） 【効果】①行政の財源に依存しない文化の在り方が生まれる。②観光をはじめとする地場産業において海士町独自の新たな価値が生まれる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①文化観光におけるマネタイズモデルの構築の実証 ②海士町を代表する「後鳥羽院」「神楽」「かんこ舟」「民謡」の4つの文化のストーリーテリング ③4つの文化の個別の磨き上げ ④文化継承を目的とした人材育成 特に、課題として認識している「文化のマネタイズ」と「人材（指導者・担い手）の減少」に対して、直接的なアプローチを試みることを事業の主としています。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・全体設計・計画・マネタイズに関わる専門家伴走支援（委託料）3,000千円 ・コンテンツ造成・販売・PRの実施・文化観光会議の開催、アーカイブ化（委託料）9,700千円 ・4つの文化の磨き上げ・人材育成 後鳥羽院：分散型デジタルミュージアムの開発、刀のコンテンツ造成（委託料）14,000千円 神楽：定期公演の実証、担い手育成教本制作、調査研究（委託料）17,100円 かんこ舟：既存行事のマネタイズとワークショップ（委託料）6,150千円 民謡：島外公演（旅費交通費）4,500千円 その他：かんこ舟関連備品購入（消耗品費）2,000千円						
主なKPI	①海士町全体の観光消費額（+3億円） ②付加価値増加額（文化観光関連推定消費額）（+12,600千円） ③文化の指導者・担い手の人数（+15人） ④新たなコンテンツ・商品数（+6件）					URL	令和8年12月公表予定

繼續

申請者	島根県西ノ島町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,403千円 (11,495千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業			
目的・効果	人材マッチングサービスの活用による産業体験の受入により関係人口の増加を図る。 事業承継マッチングシステムの構築による移住者の安定した定住を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 将来的に、あらゆる産業での担い手不足が深刻化し、ひいては地域社会の維持さえも危ぶまれる状況にあることから、各産業における担い手の確保・育成の課題を解決するために、島外からの関係人口拡大をフックとした定住施策を実施する。 ①人材マッチングサービスを活用した産業体験実施による短期的な人材確保 ②産業体験参加者の定住への誘導 ③定住希望者と廃業予定者のマッチングによる事業承継促進							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○人材確保育成事業 ・人材マッチングサービス活用（委託料）4,500千円 ・研修会運営（委託料）945千円 ・事業承継マッチング支援（委託料）6,050千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への移住者数（+65人） ②産業体験参加者からの移住者数（+1人） ③産業体験参加者の事業承継数（+1人） ④産業体験参加者数（+79人） ⑤島外人材のポートフォリオ作成者数（+14人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nishinoshima.shi mane.jp/bunya/b_sangyo/b_shoko-kanko/1892

事業概要：環境×教育×観光による持続可能な地域づくりプロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	島根県隠岐の島町ほか4自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	88,230千円 (28,010千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	地域連携DMO（一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構）を中心として持続可能な地域社会の実現を図る DMO組織マネジメント体制強化により、高度な観光地経営を図る 地域OTA事業の拡大により、観光属性データの取得及びDMOの収益源確保を図る データマーケティングに基づいた効果的効率的な情報発信により、国内外からの誘客を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 島根県隠岐地域ではDMOを中心として、いわゆる「観光」業のみによる地域経済の活性化だけでなく、ジオパークの理念による「環境」の保全・保護及び「教育」の発展に対する活動を行っている。本交付金を活用し「環境×教育×観光」による取り組みを推進し、「持続可能な地域社会の実現」を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○マネジメント体制強化 ・マネジメント専門人材確保 4,010千円 ・DMOの人事・人材開発に係る委託経費 3,000千円 ○ツーリズム事業の立ち上げ ・地域版OTAへの流入促進に係る経費 9,000千円 ○効果的効率的な情報発信 ・to Bプロモーション 2,000千円 ・to Cプロモーション 10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+992百万円） ②観光客数（+10,205人） ③地域OTAへの参画事業者数（+66施設/体験） ④DMOの定職率（+20%）		
	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.oki-geopark.jp/	



※島根県隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村、島根県の広域連携事業

申請者	島根県隠岐の島町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,144,587千円 (868,587千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域産業と交流のイノベーションハブとなる、商業と多世代交流の機能合築施設及び広場、周辺道路等を整備し、官民連携による運営と、西郷港周辺エリア内の各施設との周遊性の強化により、隠岐の島町の基幹産業である農林畜水産業当事者だけではなく、子どもたち、教育機関、福祉施設、物流事業者、新規従事希望者などの多様な関係者の共創により、地場産品の付加価値を高め、具体的な商流構築と生産持続性の確保につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 賑わいづくりや観光交流に資する官民連携による施設整備及び既存施設等との周遊性強化を図るとともに、地域の高校生等と連携した商品開発事業等を行い、隠岐の島町の海の玄関口である西郷港周辺の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・商流システム開発事業（委託料）5,000千円 ・デジタル技術を活用したまちづくり支援プロジェクト（委託料）4,000千円 ・デジタル・アプリケーション設備に係る技術指導費（委託料）2,000千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事等 高付加価値商品の加工・販売拠点整備 500,000千円 ・関連工事 ボーリング調査、電柱移転等 34,000千円 ・備品整備 商品開発及び加工製造等設備・備品 53,787千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 135,000千円 歩行者に配慮した道路改良と無電柱化を行う ・都市環境整備事業 134,800千円 拠点施設と一体的に活用し、販売や賑わいづくりに活用される広場を整備する						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①エリア内の空き店舗・空き家率（▲1.0%） ②水産物の島内流通量（+34.25t（+25%）） ③産官学の連携プロジェクト・新規商品（+22件） ④園芸品目の産出額（+3.5百万円（+8.75%）） ⑤地域内来訪者の1人あたり年間観光消費額（+5千円） ⑥地域内のタイアップ事業者（+12者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定